産業動物臨床医学雑誌　投稿規定

1．筆頭著者および投稿責任者は日本家畜臨床学会，大動物臨床研究会ないし九州沖縄産業動物臨床研究会の正会員と学生会員とする．研究材料提供者等については謝辞に記載する．

2．投稿論文は未刊行のものとし，家畜臨床に関する原著，症例報告，短報とする．投稿論文は編集委員会が委嘱する論文審査委員の査読を受けた後に採否を決定する．この他に総説，臨床アイディア，技術講座，資料等の投稿原稿を掲載する．

3．原稿は和文とし，コンピューターを用いて以下の執筆要領にしたがって作成する．ページ書式はA 4 版縦長，12 ポイントの明朝系フォントで横書きとし，十分行間をあけて，ページと行番号を付す．イタリック体，上付･下付文字以外の字体の修飾（太字，サイズ）の指定はしない．

(1) 表紙（第 1 ページ）

1）表紙には表題，著者名，所属機関名（診療所名）および連絡責任者の名前と連絡先住所，電話番号，ファックス番号，E-mail アドレス等を記載する．別刷りを必要とする場合は，実費にて希望部数を印刷する．掲載論文は pdf ファイル化し，連絡責任者に提供する．なお，pdf ファイルの配布は共著者のみに限る．

2）論文には独立した表題を付し，連続論文形式にはしない．

(2) 和文要約（第 2 ページ）

1）論文の内容が要約だけを読んでも分かるように，目的，材料および方法，結果，結論を含めて 800 字以内にまとめる．

2）末尾に 5 語までのキーワードを英文のキーワードに対応する順で記載する．

(3) 英文要約（ABSTRACT）（第 3 ページ）

1）英文による表題，著者名，所属機関名（診療所名），省略した所在地を記載する．

2）和文要約を英単語 600 語以内に英訳する．

3）末尾に 5 語までのキーワードをアルファベット順に記載する．

(4) 本文（第 4 ページ以降）

1）原著論文は緒言（はじめに），材料および方法，結果（成績），考察，謝辞，引用文献の順序に記載する．症例報告は緒言（はじめに），症例，考察，引用文献の順に記す．短報は見出しを分けずに記載してもよい．

2）学術用語以外は当用漢字を用い，句読点は「，．」を使用する．数字と英単語は半角で表記する．

3）本文ならびに文献リスト中の外国人名は原名綴りのままとする．

4）動植物，微生物などの学名はイタリック体で記載するか，単語に下線を引いて印刷指定する．

5）略称を使用するときには，論文中に初めて使用するときに完全な語を掲げ，その後に略称を括弧内に表示する．

6）数字は算用数字を用い，度量衡の単位および略語は原則として SI 単位を用いる．

【例】M, mM, mol, mmol, μM, N, %, m, cm, mm, μm, nm, pm, cm^2, ℓ, dℓ, mℓ, μℓ, kg, g, mg, μg, ng, pg, hr, min, sec, rpm, ppm, ℃ , J, pH, LD50, IU, kDa cal, Kcal

(5) 図表等

1）図（写真，イラストを含む），表はそれぞれ 1 枚ずつ作成し，通し番号を付ける．本文中に当該位置を指定する．

2）原図はそのまま製版できるように作成する．web 上では原図はカラーで表示できる．

3）表は縦罫を入れないで作成する．横罫の使用も最低限に留める．

4）写真はデジタルカメラで撮影したものを jpg 形式で保存し使用する．web 上では写真はカラーで表示できる．

5）図と写真の説明文は附図説明として別紙にまとめて記載する．

6）図表等はそれぞれ個別のファイルとして添付し，本文テキスト中にデータを貼り付けない．

(6) 文献

1）引用できる文献は学会誌，専門的学術誌あるいは専門書とし，年報，報告書，学会抄録，講演会テキスト，レフリー制度のない商業雑誌等からは原則として引用できない．

2）最初に引用された順番に番号を振り，本文中の引用個所に［1, 2-5］のように記載する．

3）雑誌の場合の記載形式は，著者名，論文のタイトル名，誌名，巻，最初のページ－最後のページ，発行年とする．

4）単行本の場合の記載形式は，著者名（著者名が複数の場合は引用した著者のみ），記事のタイトル名，書名，監訳者／編者名（複数の場合は 1 名のみ記載する），版，最初のページ－最後のページ，発行所，発行地，発行年とする．

Presented by Medical*Online

5）雑誌名の省略名はそれぞれの雑誌の決まりに従う．不明な場合は省略しないで記載する．

6）著者が2名の場合は省略せず連名で記載し，3名以上の場合は筆頭著者のみ記載し，和文では「他」，英文では「et al.」と省略する．

【例】

例1　Farnsworth JR：Microbiologic examination of bulk tank milk, Vet Clin North Am Food Anim Pract, 9, 469-474（1993）

例2　Ariznabarreta A, Gonzalo C：Microbiological quality and somatic cell count of ewe milk with special reference to staphylococci, J Dairy Sci, 85, 1370-1375（2002）

例3　金子一幸，他：乳牛における乳汁中アミロイドAタンパクによる潜在性乳房炎の診断，日獣会誌，57, 515-518（2004）

例4　高井伸二：細菌感染症の検査法，獣医微生物学，見上彪 編，2版，53-56，文永堂出版，東京（1995）

4．総説を除く投稿論文は図表など一切を含め刷り上がり6ページ以内（1ページは約2000字）とする．

5．提出原稿はデータファイル（メールの添付文書ないし受信可能な大容量ファイル送信サービス）で編集委員会宛に送稿する．編集委員会とのやりとりは電子ファイルで行う．審査終了論文は体裁を統一するために，編集委員会で修正することがある．

6．使用するコンピューターソフトはマイクロソフト社のワード，エクセル，パワーポイントが望ましい．

7．著者校正は初稿のみとし，その際に新たな記載追加は認めない．校正刷りはファックスないしpdfファイルで著者宛に送信し，48時間以内に返信することとする．2校以降は編集委員会の校正にて校了とする．

8．著作権は産業動物臨床医学雑誌編集規定第12条に基づき日本家畜臨床学会，大動物臨床研究会および九州沖縄産業動物臨床研究会に帰属する．会誌を他に利用しようとする場合は，予めその利用について編集発行人の許可を得る必要がある．

9．投稿原稿の送付および投稿に関する照会は下記宛てとする．

〒020-8550　盛岡市上田3丁目18－8
岩手大学農学部附属動物病院気付
産業動物臨床医学雑誌編集委員会
電話　019－621－6158（村上賢二）
ファックス　019－621－6158
E-mail　jjvc@iwate-u.ac.jp

付　則

本規定は平成22年4月1日より施行する．
本規定は平成27年4月1日より施行する．
本規定は平成30年5月12日より施行する．
本規定は平成31年4月1日より施行する．
本規定は令和7年4月1日より施行する．

複写される方へ

本学会は本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております．本誌に掲載された著作物を複写したい方は，同協会より許諾を受けて複写して下さい．但し㈳日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約をされている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません．（社外頒布用の複写は許諾が必要です．）

権利委託先：
一般社団法人学術著作権協会
〒107－0052　東京都港区赤坂9-6-41
乃木坂ビル　2F
電話（03）3475-5618　FAX（03）3475-5619
E-mail：info@jaacc.jp

なお，著作物の転載・翻訳のような，複写以外の許諾は，学術著作権協会では扱っていませんので，直接本学会へご連絡ください．

また，アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は，次の団体に連絡してください．
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone 1-978-750-8400　FAX 1-978-646-8600

Presented by Medical*Online